

アンケート回答時に寄せられた質問への回答

(令和7年度高齢者関連事業者【入所系】向け感染症対策研修 2026年1月21日 web 開催)

質問 1	医大での感染者一人あたりの、実際の隔離期間(5日?7日?10日?)を教えてください
回答 1	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>感染者1人あたりの隔離期間についてですが、 当院では、新型コロナウイルス感染症の場合、ウイルスの排出がほぼみられなくなる10日間かつ症状が改善してから24時間経過を隔離期間の基本としています。 インフルエンザの場合は、5日間かつ解熱後2日を経過してから隔離解除としています。 どちらも発症日を0日目として数えています。</p> <p>10日間および5日間という日数については、対象となる病原体に感染した人が、他者に感染させる可能性のある期間を考慮して設定しています。</p> <p>職員については、対象となる期間において、自身の健康管理や咳エチケット、手指衛生などを徹底できることを前提に、医療従事者または患者や医療従事者に接触するスタッフは7日間、そうではないスタッフは5日間の就業制限としています。</p>

質問 2	クラスター発生時の隔離終了期間が「潜伏期間×2」とのことでしたが、コロナの場合は具体的にどうなりますか？実際のところを伺いたい
回答 2	<p>次に、クラスター発生時の対応終了の考え方についてです。</p> <p>クラスター対応では、感染者本人の隔離期間とは別に、新たな感染者が発生していないことを確認するための観察期間を設けています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症を例にすると、当院では新型コロナの潜伏期間を「5日間」と設定しているため、例えば、クラスターに関連する最後の発症者が1月21日の場合、</p> <ul style="list-style-type: none">・発症者本人の隔離対応期間は10日間となるため、1月31日まで隔離・クラスター対応としては、「潜伏期間(5日間)×2=10日間」を観察期間の目安とし、1月31日まで対応という考え方になります。 <p>いずれも対応を終了する日が同じとなるため混同しやすいのですが、当院では新型コロナの潜伏期間を5日間として設定していることから、結果として、最後の陽性者の隔離対応の終了日と、クラスター対応の終了日が同日になるという整理になります。</p> <p>研修でもお話ししたとおり、新型コロナウイルスにおける「陽性者が他者に感染させる可能性のある期間」および「潜伏期間」については、公表されている目安の期間を参考にしつつ、各施設で対応可能な期間を検討し、設定する必要があります。</p> <p>当院では現在、新型コロナウイルスについて、「陽性者が他者に感染させる可能性のある期間」を10日間、「潜伏期間」を5日間と設定して対応していますが、こうした運用を行って以降、以前と比較して院内での新型コロナ感染者が増加している状況はありません。</p>